



平成24年9月28日

各位

会社名 日本ガイシ株式会社
(登記社名 日本碍子株式会社)
代表者名 代表取締役社長 加藤 太郎
(コード番号 5333)
(東証・名証各第1部)
問合せ先 取締役常務執行役員 財務部長 坂部 進
電話 052(872)7230

投資有価証券評価損 及び 業績予想の修正 に関するお知らせ

当社が保有する「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、取引関係強化を目的として保有する株式の時価が簿価に比べ著しく下落し、平成25年3月期第2四半期において減損処理による投資有価証券評価損を計上する必要が生じました。

最近の業績動向も踏まえ、平成24年5月11日に公表した平成25年3月期業績予想を、下記の通り修正しましたのでお知らせ致します。

記

1. 平成25年3月期第2四半期の投資有価証券評価損の総額（見込み）

（連結）

平成25年3月期第2四半期の投資有価証券評価損の総額 3,045百万円

（注）四半期における有価証券の評価方法は「切り放し方式」を採用しております。

2. 業績予想の修正について

（1）平成25年3月期第2四半期累計期間 連結業績予想（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	124,000	11,000	10,000	9,000	27.56
今回修正予想(B)	124,000	11,000	8,500	1,000	3.06
増減額(B-A)	—	—	△1,500	△8,000	—
増減率(%)	—	—	△15.0%	△88.9%	—
(ご参考)前年同期実績 (平成24年3月期第2四半期)	121,978	15,501	14,447	10,713	32.81

（注）前年同期実績は、会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

(2) 平成 25 年 3 月期通期 連結業績予想(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益 又は損失(△)	1 株当たり 当期純利益 又は損失(△)
前回発表予想(A)	百万円 270,000	百万円 28,000	百万円 30,000	百万円 24,000	円 銭 73.50
今回修正予想(B)	255,000	23,000	24,000	16,000	49.00
増減額(B－A)	△15,000	△5,000	△6,000	△8,000	－
増減率(%)	△5.6%	△17.9%	△20.0%	△33.3%	－
(ご参考)前期実績 (平成 24 年 3 月期)	247,307	25,967	28,583	△35,657	△109.21

(注) 前期実績は、会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

本連結業績予想は上述の投資有価証券評価損による特別損失を織り込んでおります。

3. 修正理由

(1) 第 2 四半期累計期間の業績予想

全社合計では、売上高、営業利益は前回の予想から変化はありません。事業別には、エレクトロニクス事業において、市況の低迷等から半導体製造装置用セラミックス製品やインクジェットプリンター用圧電マイクロアクチュエーターの需要が減少したものの、セラミックス事業の自動車関連製品は堅調に推移しております。

経常利益は、為替差損の発生や持分法投資損失の拡大により、前回予想を下回る見通しです。また前述の投資有価証券評価損に伴う特別損失の計上に加えて、当下期の所得見込み額の減額に伴い、繰延税金資産を減額することから税負担が増加し、当期純利益は前回予想と比べて大幅な減益となる見通しです。

(2) 通期の業績予想

売上高は、エレクトロニクス事業において、年度後半の市況回復を前回予想では前提としておりましたが、市況の低迷継続が想定されることから減収となる見通しです。また電力関連事業においても、大型案件の翌期への繰延の可能性が高まっており、全社合計で前回予想を大幅に下回る見通しです。

利益面では、営業利益、経常利益はエレクトロニクス事業と電力関連事業の減収の影響により前回予想と比べて減益となる見通しです。また当期純利益は、第 2 四半期で計上する投資有価証券評価損に伴う特別損失も加わり、前回予想を大幅に下回る見通しです。

業績予想につきましては、現時点で得られた情報にもとづいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより業績予想と乖離する結果となりうることをご承知おき下さい。

以 上